

NTN 跡地・ガーデンフィールズ跡地 利活用について

先日、宝塚市 NTN(株)跡地等利活用基本計画・基本設計策定業務プロポーザルの審査結果、及び宝塚市宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用・基本設計策定業務プロポーザル審査結果について、当局からの説明、そして質疑応答がなされました。

NTN 跡地に関しては、私の思いとしては、これまで一般質問などを通じて、宝塚市に大型ホールの建設予定地として、いつかは活用すべきという意見をさせて頂いて参りました。

財政上の問題もありますので、末広中央公園・勤労市民センター・中央公民館・市役所・NTN 跡地及び周辺道路の整備も含めて、一体的な公共施設に対する構想を練ってからでも遅くありませんし、財政面の裏付けも含めたしっかりとした計画ができるまでは、NTN 跡地は末広中央公園のような緑の公園として、しばらく整備しておけば良いのではないかとすることも申し上げて参りました。

その上で、中央公民館新設については、公共施設マネジメントも始まりますので、上記のことも含めて、3月議会で反対をさせて頂きました。

しかし、私が反対しようが、どんどん計画は進んで行く中、NTN 跡地に関してイメージ図のような計画が示されました。

願わくは、市役所より御所前側に新設が予定されている水道局や危機管理センターの面積は減らしてもらって、いつか大型ホール（大型総合体育館）を建設できるスペースを確保し、各種運動や文化のイベントや成人式等を始めとする大会等が開催できるようになることを期待しています。

また、ガーデンフィールズ跡地に関しても、市の行財政改革に対する取り組みが甘いことを述べさせて頂き、購入に対しては反対の姿勢を取らせて頂いて参りました。

こちらも、私が反対しようが、計画は進みまして、イメージ図のような計画が示されました。

土地購入代金と建設代金も含めて、両方合わせて約 95 億、国費で約 29 億の補助金を見込み、市の持ち出しは約 66 億円で、そのうち市が購入した NTN 跡地のうち一番御所前よりの場所は、阪神間 6 市 1 町でつくる「阪神福祉事業団」に約 7 億円で売却する予定ということだそうです。

更に、新中央公民館は建設に約 17 億円ほどかける予定で、一方で公共施設マネジメントを計画し、公共施設を整理統廃合して行く計画が進められる中、新設の公共施設は次々と建設予定が進められる。その割には、真摯な行財政改革の取り組みはなされていないという、大変将来に不安を残すものとなっています。

何かと反対をさせて頂いておりますが、せつかくの計画ですから投資に見合う効果を期待するとともに、嫌われても行財政改革の必要性を今後も訴えさせて行かざるを得ないと思うところです。

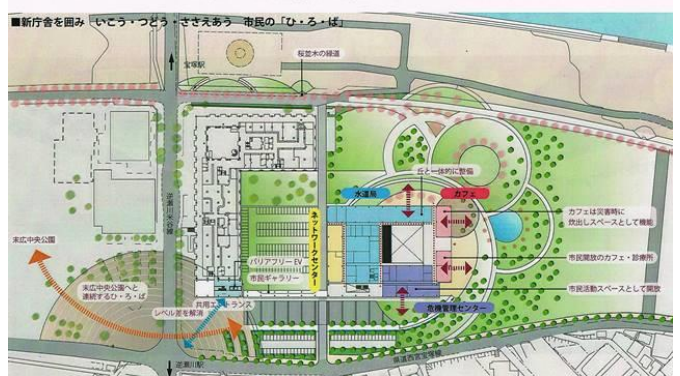
全体イメージ図



全体イメージ図



土地利用・施設配置(計画平面図)



施設・庭園計画平面図

